

令和6年6月21日

甲府市議会議長 坂本信康様

環境水道委員会 鮫田光一

### 所管事務調査報告書

環境水道委員会におきまして、甲府市議会基本条例第18条第4項に基づき、所管事務調査及び政策研究のテーマを定め、調査・研究を進めてまいりました経過と結果について御報告いたします。

令和5年7月19日の委員会におきまして、本市が目指すゼロカーボンシティの実現のために脱炭素推進の取組が欠かせないものと考え、今期の調査・研究テーマを「地球温暖化対策について」と決定しました。

同年8月24日の委員会におきまして、当局から本市の地球温暖化対策について説明を受け、質疑を行い、甲府市地球温暖化対策実行計画の施策の中でも、中間目標である2030年度までに先導的かつ重点的に実施する取組の方針や重点施策を整理した甲府市ゼロカーボン戦略等について理解を深めました。

同年10月24日から26日までの日程で、東京都八王子市、栃木県宇都宮市、宮城県富谷市、栃木県佐野市への行政視察を実施し、脱炭素先行地域の取組や低炭素水素サプライチェーン実証実験及び追加実証設備など、地球温暖化対策に係る取組について調査を行いました。

同年11月7日には「地球温暖化対策について」をテーマとした山梨英和中学校・高等学校生徒、山梨大学学生との市民と議会の交流会において、地球温暖化について知る機会や一人一人の意識を高められるような教育、甲府市の各種施策の幅広い周知が必要であるなど、様々な観点からのご意見をいただきました。

同年11月27日の委員会におきましては、行政視察の調査結果や市民と議会の交流会を踏まえた委員間討議を行う中で、「脱炭素に向けて何ができるかを分かりやすく示すなど、どのようにすれば市民が自然に脱炭素の方向に向かえるかを考えるべきである」、「地球温暖化によりどのようなデメリットがあるのか、それを防ぐために何をすべきかといったことを自分事として捉えなければ響いてこない」、環境教育の促進というのは重要な視点である」といった意見がありました。

令和6年2月9日の委員会におきまして、これまでの議論を踏まえて活発な委員間討議を行い、「環境教育の促進」、「市民の意識啓発」、「市民に向けた取組」

が肝要であるとの認識を委員間で共有いたしました。

同年4月22日、甲府中央郵便局への視察を実施し、再配達の現状や改善に向けた取組を中心に、CO<sub>2</sub>排出量の削減による地球温暖化対策に係る取組について調査を行いました。

同年5月20日の委員会におきまして、視察の調査結果やこれまでの調査・研究を踏まえて委員間討議を行い、地球温暖化に対する危機意識の醸成や甲府市の施策によるCO<sub>2</sub>削減効果の評価・検証の必要性を指摘する意見などがありました。

環境水道委員会といたしましては、「環境教育の促進」として、地球温暖化によりどのような影響があるのか、また、各取組がどのように結果に結びつくのかといったプロセスを周知するなど、地球温暖化対策への理解を広げていくこと、「市民の意識啓発」として、各取組を実施することによってどの程度CO<sub>2</sub>が削減できるか明確にするなど、市民一人一人が地球温暖化の問題を自分事として捉えられるよう啓発を進めていくこと、「市民に向けた取組」として、置き配の促進やエコポイントの導入、住宅の断熱化に対する補助制度の創設など、市民が参加しやすい地球温暖化対策の検討や、より多くの市民に活用してもらえるような各施策の幅広い周知を行うことが不可欠であると考えます。

当局におかれましては、本調査・研究の結果を参考としていただきながら、引き続き地球温暖化対策を明快かつ着実に推進されることを期待し、報告いたします。